

第5学年 道徳学習指導略案

2組 計36人(男子18人, 女子18人)

指導者 坂元 大輔

- 1 主 題 名 **ほんとうの自由【A 善悪の判断, 自律, 自由と責任】**
教材名「うばわれた自由」(日本文教出版5年)

- 2 本主題で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

創造力	「自由」に付随する責任や自分の役割などを関連付けながら、「自由」について道徳的価値の理解を広げたり、深めたりする力
協働力	友達との「学び合い」や教師とのやりとりを通して、「自由」について自分の考えを形成する力
振り返る力	自分のよさや課題, これまでの経験を基に「自由」について考えたことを振り返り, これからの学習や実生活で生かそうとする力

- 3 ねらいとする道徳的価値について

(1) 指導内容についての基本的な立場

人は他者と関わり合って生活しているため, 自分の自由な言動は他者にも影響を及ぼす。時には他者に迷惑をかけてしまったり, 自由を奪ってしまったりする負の側面もある。したがって, 自由には自分で自律的に判断し, 行動したことによる自己責任が伴う。本主題では, 自由と自分勝手との違いや, 自由だからこそできることのよさを考えることを通し, 自由な考えや, 行動に伴う責任やその大切さを実感できるようにする。そして, 自律的で責任のある行動についてのよさの理解を一層深めようとする実践意欲や態度を育てる。

(2) 全体計画(別葉)における本主題の位置付け

〈本校の道徳教育の目標〉
よいことと悪いことの区別を主体的に判断し, 生命ある全てのものを大切にしようとする子供を育てる。

〈重点目標(高学年)〉
自他を尊重し集団の一員としての自覚を高め, 創造性豊かな生活への実践的意欲や態度を育てる。

〈子供の実態〉
自分の権利だけでなく, 他者の権利も尊重しながら, 協働していこうとする思いが不十分である。

〈テーマ〉自分や他の人を大切にしながら, とともに生活していくときに必要なことは。

教科等	主な学習活動	知識の理解の質の高まり
朝の活動 10月	人と関わるときの自分の課題や大切にしたいことを明確にする。	仲よく遊んだり学習したりしているけれど, 時々自分勝手にしてしまうのはなぜだろう。 子供の反応 キーワード
「おたがいのけんり」10月 【C 規則の尊重】 『住みよいマンション』	お互いが気持ちよく生活するため, 自他の権利を大切に, 自らの義務を果たそうと考える。	自分の権利のみ主張せず, 相手の権利も考え, みんなで気持ちよく過ごせるようにしたい。 自分の義務を果たすことの大切さ
「大切な自分らしさ」10月 【A 個性の伸長】 『マンガ家 手塚治虫』	自分の好きなことから自分の個性を見つめ, 自分の長所を積極的に伸ばそうと考える。	自分を支えてくれる周りの人に感謝しながら, 自分のよさを生かせるよう, 努力したい。 自分らしく生きることの心地よさ
「ほんとうの自由」11月 【A 善悪の判断, 自律, 自由と責任】 『うばわれた自由』	自由が保証されるために, 他者にも配慮する必要があることに気づき, 責任ある行動をとろうと考える。	「自由」とは周りの人のことをよく考えながら行動し, 自分らしく生きることだ。 周囲のことを考えることの大切さ

朝の活動 12月
人と関わるときの自分の課題や大切にしたいことを再度振り返る。
人と関わる際は友達などの周囲の人たちを思いやりながら, 自分らしく生活していきたいと思う。

【他教科との関連】

総合的な学習の時間 10月 「身の回りの福祉について調べよう」 ・高齢者や車椅子利用者の生活状況や思い, 願い等を調べる。	社会科 12月 「情報化した社会とわたしたちの生活」 ・メディアリテラシーを身に付ける必要性など, 情報との関わり方を考える。	理科 1月 「人のたんじょう」 ・生命の仕組みを理解することで, 自他の尊さを考える。
---	---	---

【家庭や地域社会との連携】

テーマ学習当初に記述した自分の課題等について, 学習終了後に再度振り返らせ, 記述させたことの中から児童が学んだことを保護者に学級通信等で知らせ, 家庭における励まし等に活用してもらう。

4 子供の実態について

実態調査の結果から、本学級の子供は、「自由」の意味について、「自分が好きなように何でもできる」、「自分の思い通りにできる」、「楽ができる」、「ルールがない」などと考えている。また、「自由」と「自分勝手」との違いについて、「自分勝手」には「相手意識のない意味合いが強い」というように、両者の違いをある程度認識はしているものの、実生活を見ていると「自由」と「自分勝手」をほぼ同義に捉えている子供も多いと感じる。そこで、本時では「自由」と「自分勝手」の違いを考える活動を通して、一人一人が規律を守ることによってそれぞれの「自由」が保証されることに気付き、責任ある行動をとろうとすることの大切さについて考えることができるようにする。

5 教材について

自分の思いのままに行動することこそ「自由」だと考えていたジェラル王子が、禁止されていた森での狩りを行っていたとき、その考えの誤りを森の番人ガリューに指摘されたが聞き入れなかった。それから月日が経ち、国王となったジェラルは、ますますわがままに振る舞うようになった。同様に国民も勝手なことをするようになり、世の中が乱れてしまう。やがてジェラルは、裏切りに合い、囚われの身となって、牢獄でガリューと再会する。これまでの振る舞いを後悔するジェラルに対し、ガリューが「本当の自由」を大切に生きていくようにと諭す話である。「自由」と「自分勝手」の違いを考える活動を通して、「本当の自由」の意味について自分の考えをもつことができるよう、本教材を活用する。

6 指導に当たって

(1) 「自分の問い（自分のめあて）」をもたせる教師の手立て

「気付く」過程で、「自由」の捉えに関する学級の実態調査結果を提示する。次に、周囲への配慮が感じられる「自由」の場面と、配慮が感じられず「自由」を「自分勝手」と混同している場面を提示することで、「自由」に対する疑問点や自己の価値観に気付き、「本当の自由」について考えていこうとする問題意識を高めることができるようにする。こうした手立てにより、一人一人が問題に対する「自分の問い（自分のめあて）」をもち、主体的に学習することができるようにする。

(2) 「学び合い」を活性化する教師の手立て

「見つめる」過程の前半で、ジェラルとガリューの捉えている「自由」の意味の違いについて書かせる。その後、ペアやグループで「学び合い」をし、ウェビングマップに表す。そうすることで思考の可視化や共有化を図り、一人一人が二つの「自由」の意味の違いを捉えることができるようにする。

「見つめる」過程の後半で、前時の学びを想起させ、「周囲の人のことばかり考えることが、『本当の自由』になるのか。」と「新たな問い」を提示する。そうして、本時の内容項目【A 善悪の判断、自律、自由と責任】に関わる「新たな道徳的価値」と、前時で学んだ内容項目【A 個性の伸長】に関わる「既得の道徳的価値」を関連付けて考えることで、「本当の自由」についての考えを広げたり、深めたりする。

(3) 学びを振り返り、学びを価値付ける教師の手立て

「深める」過程で、本時で考えたことや気付いたことについて振り返らせ、記述する時間を設ける。その際、テーマや本時の問い、前時までの学びを意識させることにより、「自由」に対する「概念的な道徳的価値」を更新できるようにする。さらに、導入時と終末時の自己の道徳的変容の記述や発言を教師が価値付けることで、他教科や実生活等へ生かそうとする子供の実践意欲や態度を高めることができるようにする。

「高める」過程で、本時の主題に関連する説話を聞かせることで、余韻を味わわせながら学習したことを振り返らせ、今後の実践意欲や態度を高めることができるようにする。

7 本時

(1) **ねらい** 「本当の自由」とは何か考え、よさとそれに伴う責任の大きさに気付き、自律的で責任ある行動をとろうとする実践意欲や態度を育てる。

(2) **展開** □ 教師の言葉掛け □ 子供の反応 ◆ 重点評価項目

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導												
気付く (6)	<p>1 実態調査結果で「自由」に関する捉えを確認した後、周囲への配慮がある「自由」の場面と配慮のない「自由」の場面を見て、二つの「自由」の違い等について問題意識をもつ。</p> <p>実態調査の結果を見ると、「自由」にできることは、いいことだとみなさんが感じていることが分かります。では、この2つの場面ともに「自由」を感じられるので、どちらもいいですね。</p> <p>・どちらも「自由」ではあるけれど、一方はよくない気がする。 ・2つの場面の「自由」の意味は、何か違っている気がする。 ・一方が「本当の自由」でもう一方は「間違っただけの自由」だと思う。</p> <p>2 「本当の自由」に対する本時のめあてを立てる。</p> <p>「本当の自由」とは、どんな自由のことだろうか。</p>	<p>★ 電子黒板で、「自由」の捉えに関する学級の実態調査結果と、「自由」に関する2つの場面を見ることで疑問点や自分の価値観に気付き、問題意識を高めることができるようにする。</p> <p>○ 一人一人が、問題に対する自分のめあてを考慮することで、主体的に活動することができるようにする。</p>												
見つめる (28)	<p>3 教材「うばわれた自由」を聞いて、ジェラルルの気持ちを中心に捉えながら、「自由」の意味について考える。</p> <p>(1) 森の番人ガリューに狩りをしていたことを咎められたジェラルル王子の気持ちを考える。【人間理解】</p> <p>・国の王子だから、自分の好きに行動して何が悪い。 ・ガリューなんかと言われる筋合いはない。</p> <p>(2) うらぎりにあい、捕らえられてしまったジェラルル王の気持ちを考える。【人間理解】</p> <p>捕らえられたジェラルル王は、何に気付いたのでしょうか。</p> <p>・国王とはいえ、わがままに行動し過ぎた自分が悪かった。 ・自分のしていたことは、「本当の自由」ではなかった。</p> <p>(3) ジェラルルが捉えていた「自由」と、ガリューが捉えていた「本当の自由」との違いを考える。【価値理解】</p> <p>ガリューが言った「本当の自由」とは、どんな自由のことなのか、自分の考えをもち、ペアやグループで「学び合い」をして、ウェビングマップに書き込みましょう。</p> <table border="1" data-bbox="311 1243 1029 1422"> <thead> <tr> <th>ジェラルル「自由」</th> <th>ガリュー「本当の自由」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>何でも自分の好きにふるまう</td> <td>きまりを守って自分らしく生きる</td> </tr> <tr> <td>周囲のことは考えない</td> <td>周囲のことも考える</td> </tr> <tr> <td>自分の都合だけを考える</td> <td>わがままをしない</td> </tr> <tr> <td>責任をもちたずに行動する</td> <td>自分がすることに責任をもつ</td> </tr> <tr> <td>後先を考えない</td> <td>後先を考える</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 前時で学んだ既得の道徳的価値「自分らしさを大切にすること」【A 個性の伸長】を振り返りながら、「本当の自由」に対する「新たな問い」を考える。【価値理解】【他者理解】</p> <p>周囲の人のことばかり考えることが、「本当の自由」になるのでしょうか。</p> <p>・周囲の人のことも考えつつ、自分のよさを大切にすることが「本当の自由」だと思う。 ・自分の行動に責任をもち、周囲の人に迷惑をかけないかどうかをよく考えることが「本当の自由」には必要だと思う。</p>	ジェラルル「自由」	ガリュー「本当の自由」	何でも自分の好きにふるまう	きまりを守って自分らしく生きる	周囲のことは考えない	周囲のことも考える	自分の都合だけを考える	わがままをしない	責任をもちたずに行動する	自分がすることに責任をもつ	後先を考えない	後先を考える	<p>○ 電子黒板で、教材を視聴させる。</p> <p>○ 自分勝手に振る舞うことが「自由」だと捉えていたジェラルルの気持ちを考えたり、牢屋に入った後のジェラルルの後悔する気持ちを考えたりすることで、自分勝手な「自由」の弊害に気付き、「本当の自由」との違いを捉えることができるようにする。</p> <p>○ ジェラルルとガリューの捉える「自由」の意味の違いについて、それぞれ書かせる。その後、ペアやグループで「学び合い」をして、ウェビングマップに表すことで、思考の可視化や共有化を図り、一人一人が2つの「自由」の意味の違いを捉えることができるようにする。</p>
ジェラルル「自由」	ガリュー「本当の自由」													
何でも自分の好きにふるまう	きまりを守って自分らしく生きる													
周囲のことは考えない	周囲のことも考える													
自分の都合だけを考える	わがままをしない													
責任をもちたずに行動する	自分がすることに責任をもつ													
後先を考えない	後先を考える													
深める (8)	<p>4 「本当の自由」についての「新たに学んだ道徳的価値」や「自分のめあて」に対する考えをまとめ、どのように生かしていきたいかワークシートに記述する。</p> <p>「本当の自由」とは、周りに迷惑をかけないようにしながら、自分らしくふるまっていくことだと分かった。今後は周りの人たちのこともよく考えて生活したい。</p>	<p>○ 「新たな問い」を設定することで、本時の内容項目【A 善悪の判断、自律、自由と責任】と、前時で学んだ内容項目【B 個性の伸長】に関わる「既得の道徳的価値」との関連を捉え、「自由」について広く深く考えることができるようにする。</p>												
高める (3)	<p>5 「本当の自由」についての説話を聞き、今後への実践意欲や態度を高める。</p>	<p>○ 「既得の道徳的価値」と、「新たに学んだ道徳的価値」とを関連付けて振り返ることで、「概念的な道徳的価値」の大切さを理解できるようにする。また、学びを価値付けることで他教科や実生活等に生かそうとする意欲を高めることができるようにする。</p> <p>◆ 二つの「自由」の意味について、多面的・多角的に考えようとしているか。【発言・ワークシートの記述】</p>												

「自分の問い」(自分のめあて)

「学び合い」(認め合い)の活性化

「学び合い」(磨き合い)の活性化

学びの振り返りと価値付け

